

～よみがえる漆文化～

日本遺産認定記念シンポジウム in 二戸・八幡平

奥南部

漆

物語

安比川流域に
息づく漆生活文化圏

2022. 11.13 (日)
13:00 ~ 16:30 (開場 12:30)

二戸市浄法寺文化交流センター (Jホール)

定員200名 ※事前申込み必要

入場無料

[オープニングアトラクション]

浅沢神楽保存会、JTH (浄小天台寺文化財保存会)

[基調講演]

「自律的観光の磁力と未来社会」

石森 秀三 氏 (北海道博物館館長 / 国立民族学博物館名誉教授)

[パネルディスカッション]

「奥南部漆物語 今後の展開について」

問題提起「文化遺産活用と地域おこしの秘訣」

村上 佳代 氏 (文化庁 文化財調査官)



石森秀三氏



村上佳代氏



JAPAN HERITAGE
日本遺産

主催：奥南部漆物語推進協議会 (事務局：二戸市役所 公民連携推進課)

【お問い合わせ・お申込み先】

業務受託者：カシオペア市民情報ネットワーク ☎：0195-43-3461 mail：3@77.9



プログラム

13:00～ 動画上映：『奥南部漆物語』
オープニング
アトラクション
神楽上演：浅沢神楽保存会
JTH（浄小天台寺文化財保存会）

会長あいさつ 藤原 淳（二戸市長）

14:05～ 「自律的観光の磁力と未来社会」
基調講演 石森 秀三氏

15:10～ 「奥南部漆物語 今後の展開について」
パネル
ディスカッション
問題提起

「文化遺産活用と地域おこしの秘訣」

村上 佳代氏

コーディネーター 真板 昭夫氏
パネリスト 村上 佳代氏
アハット ママツト氏
小山田 和義氏
三角 裕美氏
福田 達胤氏

閉会挨拶 佐々木 孝弘（八幡平市長）



石森 秀三氏

北海道博物館館長。国立民俗学博物館教授、同研究部長などを経て、2006年から北海道大学観光学高等研究センター長、2013年から北海道開拓記念館館長、2015年から北海道博物館館長。専門分野は観光文明学、文化人類学、博物館学、文化開発論。2019年に文化観光振興の功績で文化庁長官表彰を受ける。



村上 佳代氏

文化庁 地域文化創生本部 広域文化観光・まちづくりグループ 文化財調査官。専門分野は、文化財を活かした観光まちづくり。2011年よりヨルダン・ハシミテ王国、ジンバブエ共和国、フィジー共和国の3カ国で文化財を活用した観光開発の国際協力にJICAの専門家として勤務。



真板 昭夫氏

嵯峨美術大学名誉教授、北海道大学観光学高等研究センター客員教授。1973年東京農業大学卒業。専門分野はエコツーリズム論。1992年以降、二戸市におけるエコツーリズムによる宝を生かしたまちづくり活動にアドバイザーとして参加。



アハット ママツト氏

イーハトーヴォ安比高原自然学校マネージャー。日本岩手大学連合農学研究科を経て、株式会社岩手ホテルアンドリゾートに就職。訪日外国人旅行者や修学旅行生徒などに安比高原の自然や郷土の文化を伝える。



小山田 和義氏

浅沢神楽保存会会長。昭和40年代、浅沢神楽の唯一の伝承者である齋藤駒吉氏に対し浅沢青年会の一員として伝承活動の継続を依頼。その後、旧安代町役場職員の後押しにより浅沢地域住民で昭和50年に浅沢神楽保存会を設立。



三角 裕美氏

浄法寺うるしび合同会社代表社員。令和2年に浄法寺漆の女性塗師（ぬし）3人で設立。二戸市浄法寺町にある施設「滴生舎」の漆器製造販売や情報発信の業務を受託。自身は浄法寺塗の製造のかたわら、女性の働きやすい環境づくりに力を入れる。



福田 達胤氏

株式会社小西美術工藝社取締役（漆生産部門総責任者）。文化財装飾修復の最大手として、漆産地の発展と持続に貢献すべく平成28年に二戸支社を立ち上げ、初代支社長として業界初となる日本産漆の自社一貫生産に携わる。

奥南部漆物語関連イベント情報

10.16 浄法寺漆と二戸の旬を味わう会
漆林の見学、浄法寺塗り体験後、ロレオールの伊藤シェフによるスペシャルディナー
お申込み・お問い合わせ先：二戸市漆産業課
場所：滴生舎 ほか

10.22-23 縄文時代と現代をつなぐ漆
漆掻きの実演、漆蠟を使ったキャンドルづくり
漆のストラップ艶出し WS
お問い合わせ先：二戸市漆産業課
場所：御所野縄文公園

10.24 天台寺秋のクリーンデイ
天台寺周辺地区の清掃活動
お申込み・お問い合わせ先：二戸市公民連携推進課
集合場所：滴生舎

11.17 漆うるわしの森植樹祭
ウルシの大規模植栽
お問い合わせ先：二戸市漆産業課



11.19-20 浄法寺のうるし ～つなぐつながる 2日間～
漆の塗り・掻きの実演や WS 等
お問い合わせ先：二戸市漆産業課
場所：岩手銀行赤レンガ館（盛岡市）

日本遺産とは

地域の有形・無形の文化財を組み合わせる魅力を発信し、地域活性化などにつなげる目的で2015（平成27）年から文化庁が認定を始めた制度です。文化財や伝統文化とその歴史的背景や風土に根ざした風習などを踏まえたストーリーで、情報発信や人材育成などの取り組みを効果的に進めていくことを目的としています。これまでに全国で104件が認定されました。



JAPAN HERITAGE
日本遺産

奥南部漆物語とは

安比川流域の上流域の木地師・中流域の塗師・下流域の漆掻きが一体となって漆器製作をする文化が高く評価されたもので、安比川流域の人々が漆を大切に、誇りに思いながら漆文化や伝統技術をつないできたストーリーです。